

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	5	事業名	情報化推進事業	担当部課	市長公室情報課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市情報セキュリティポリシー	2-1-6 情報化施策費	
	事業開始の背景、経緯等	合理的・効率的な行政運営の推進			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働不可		(両者と協働不可の場合はその理由) 行政運営に必要な個人情報等を取り扱うため協働は不適格である。		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市役所における複数部署にまたがる業務で使用する情報システム及び機器の情報化を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市職員
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の事務の効率化を図り、市民への行政サービスへ還元する。

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	事業費(A)		千円	予算	122,233	91,258	121,823	135,269
決算				141,835	93,546	120,319	136,323	
人件費(B)		千円	決算	16,651	10,341	10,651	10,091	
			総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	158,486	103,887	130,970
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)		人		690	690	690	690	700
			対象あたりコスト(C/D)	千円		230	151	190

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	終日に渡るシステム障害件数		件	目標	—	—	—	0
実績				—	—	—	1	
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠)						
(前年までと変更した場合はその理由)		情報システムの安定稼働は、市民サービス運営のために欠かせない。そのため、日常における機器の確認とバックアップ、消耗品等の管理を行い、適切なセキュリティ対策を行い安定稼働に繋げる努力を行うため。 R2年度もシステム障害件数は0件を目標に掲げる。障害が発生することにより、職員の業務に支障が出たり、市民に迷惑をかけてしまう恐れが考えられる。そのため、今年度は0件を目指し、日々の動作確認を欠かさず行っていく。						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) システム障害については、システム保守業者に障害発生原因を解析及び今後の対策を提案させ、毎朝のシステム稼働状況の確認等、システムの安定稼働に努めることとした。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 職員の情報セキュリティ意識を向上させるためのセキュリティ研修及び標的型訓練メールの実施、窓口効率化を図るためAI翻訳機等AIを活用した技術の試験導入、情報資産への最適な投資を行うためのコンサル支援を受けながら情報資産の把握と調達に関する統一様式の作成
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 新しい技術については、市民サービスや職員の業務運営に効果があるか見極めながら試行し、共同運用など負担軽減策を研究しながら採用を検討する。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	情報化推進事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】	見込							
	実績							
(3) セキュリティインシデント件数	件	見込 実績		0 0	0	0	0	
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> セキュリティ研修(集合研修)234人、セキュリティ研修(オンライン受講率)86.6%、標的型メール訓練2回						今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	情報化推進事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】	見込							
	実績							
(3)	見込							
	実績							
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>						今後の方向性		

事業を構成する事務事業③	事務事業③	情報化推進事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】	見込							
	実績							
(3)	見込							
	実績							
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>						今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後におけるシステム等の選定においても、情報セキュリティを確保したICT化と業務改善の一体的な取組、最適かつ公平な調達仕様とし、競争の原理を働かせるような調達を行っていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 情報システム等の調達時(随時)に、統合できるシステムについて調査し、経費の削減に努める。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革指針に係る「ICTの活用(ICT化と業務改革の一体的な取組の実施、情報セキュリティの確保)」を踏まえ、引き続き情報化の推進を図ってください。 行政改革の重要課題事業第2弾に基づき、ペーパーレス化を推進するため、引き続き情報システムの活用を図るとともに、文書を削減する取組との連携を図ってください。 災害対応も見据え、テレワークや電源確保など、非常時の対策も検討してください。
内部意見への回答		